

歯の健康

健康の入り口は、お口から

むし歯や歯周病は、お口の中だけの問題と思いませんか？実は歯と歯ぐきの健康は、全身にも大きな影響をおよぼします。例えば、肺炎、胃腸障害、肩こりなど。そんな大事な歯について考えてみませんか？6月4日から10日までは歯の衛生週間です。町では、年間を通して歯科保健事業に取り組んでいます。その中から一部を紹介します。



町歯科医師会と健康福祉課事業担当者会議



平成19年度の歯科保健事業報告を行い、今年度の歯科保健事業についての年間計画について説明を行いました。

また、歯科保健事業についての課題とその対策について話し合いました。歯科の先生方からの熱心な意見を多く頂きました。



よい歯の教室



町内の小学校3年生を対象に、各クラスで実施しています。歯科衛生士により「むし歯はこうして出来る！」の講話やブラッシング指導を行なっています。

実際に黒いクッキーを食べた後、口の中を観察し、ブラッシングで汚れを落としていきます。



食育歯科教室



町内保育所・幼稚園の年長組を対象に、「体の中で食べ物がどんな働きをするか」についてお話し、その後、「食べたら磨こう」という事で、実際に子どもたちみんな、歯磨きをします。

現在、益城町での歯科保健の課題として、1歳6カ月のむし歯保有率が増加傾向にあります。その対策として、1歳児健診後からの希望者に対するフッ化物塗布や、各乳幼児健診時に「大事な歯を守ろう」ということで、「食事とおやつ」の話と「仕上げ磨きの大切さ」について、保護者へお話をしています。

上記の他に、町内保育所、幼稚園での歯科健診時のフッ化物塗布、集団健診結果説明会時の歯科相談、気ままにスポーツ健康フェスタでの8020（80歳で自分の歯を20本以上残そう）表彰や親子のよい歯表彰、歯科相談コーナーなど実施しています。

今後も、赤ちゃんからお年よりまでの歯の健康づくりを推進していきたいと思います。

問い合わせ先 役場健康福祉課 ☎286-3111 内線133・134